

10月1日付け 辞令を交付

10月1日、辞令交付を行った。
新しい参事に永井真二郎氏（総務部長兼総務課長）、総務部長兼経営管理課長に小西英俊氏（経営管理課長兼別府支店長）が就任するなど新体制がスタートした。組合長の訓示にあったように、厳しい状況ではあるが、漁業者を支えながら前に進んでほしい。



JF大分

水産おおいた

2025年
11月

183号

発行元
大分県漁協

<http://www.jf-oita.or.jp/>



「おおいた魚マーク」
お披露目式

9月27日、JR大分駅北口駅前広場で、おおいた魚マークのお披露目式が行われた。この日は、県民のみなさん、関係者、観光客など多くの方が参加された。式では、県漁協の代表者が挨拶を行い、おおいた魚マークの紹介が行われた。マークは、おおいたの魚の姿をモチーフに、県民のみなさんが愛用できるようにデザインされた。また、県漁協の代表者が、おおいた魚マークの普及を呼びかけ、県民のみなさんに愛用を呼びかけた。式では、県漁協の代表者が、おおいた魚マークの普及を呼びかけ、県民のみなさんに愛用を呼びかけた。式では、県漁協の代表者が、おおいた魚マークの普及を呼びかけ、県民のみなさんに愛用を呼びかけた。



マークのお披露



中根組合長のコメ

「信用事業譲渡推進室」が発足 (10月1日付け)

九州信漁連への信用事業譲渡をすすめるため、10月1日、これまでの「研究会」を「推進室」に改め、譲渡に向けた課題の検証、対応策等の検討を本格的に行う組織を立ち上げた。構成員は以下の通り。

役職	氏名	漁協内所属・役職	備考
室長	西田淳一	信用事業部長	役職指定
副室長	橋本圭輔	信用事業部審査課長	役職指定
副室長	工藤誓子	信用事業部資金課長	役職指定
副室長	小西英俊	総務部長兼経営管理課長	役職指定(経営管理課長)
室員	佐藤伸弘	経済事業部長	役職指定
室員	平川ともみ	信用事業部資金課係長	役職指定
室員	植木千絵	総務部経営管理課主任	役職指定

浪井丸天水産が天皇杯を受賞

農林水産省は、10月2日、R7(第64回)農林水産祭の受賞者を発表し、本県代表として発表した浪井丸天水産(代表 浪井大喜氏)の「ブランドをつくる 若武者の挑戦」が、水産部門(経営 漁業経営改善)において天皇杯を受賞した。県内漁業者の受賞は、23年ぶり3回目の快挙。おめでとうございます。授賞式は、11月23日、皇居にて行われる。



浪井大喜さん

【受賞理由等】

4kgサイズの小型ブリ養殖で、ブランド化して販売し、小規模ながら生産、加工、流通の一貫体制を構築している。ターゲット層を定め、取引先からの要望を生産するサイズ決定や身質、鮮度のための飼料開発、自社での加工を行うなどマーケットインの発想に基づく養殖業を実現している。また、種苗の採捕から養殖、販売までを自社で完結することで、経費や付加価値を的確に判断した上で、取引することで利益率の高い価格決定等に成功し、安定した収益性の高い経営体制を構築している。結果、ブリの出荷尾数は取組当初の4.3倍、売上金額は約3倍に増加した。加えて、休憩スペースを設置するなど職場環境の充実にも取り組んでいる。ニッチ需要に注目し、独自の市場を開発していく視点を持った本取組は、他の小規模養殖経営体においても参考になると十分に考えられる。

漁船無事故「チャレンジ100」 in大分2025『宣誓式』

10月1日、佐伯市鶴見の公設市場において、漁船無事故「チャレンジ100」in大分の宣誓式が行われ、100日間の海難事故防止の取組がスタートした。

大分県海域では2020～2024年までの5年間で233隻の船舶事故が発生し、うち漁船が57隻で、全体の24%を占めている。

式では、中根組合長が「漁協としてこの啓発運動を通じ安定して水産物を食卓へ届けたい。保安部、県と連携し安全操業に努める」と挨拶。

その後、県漁業管理課平川千修参事が瀧野農林水産部長の挨拶を代読、「安全操業によりもたらされる水産物を漁業者等と連携し、販売促進、消費拡大に力を注ぐ」とした。

結びに疋田一則鶴見地区漁業運営委員長が「引き続き事故のないように努め、獲った魚を皆の食卓に届けていく」と宣誓し、閉会。



氣勢を上げる参加

10月18、19日、別府公園において開催された。18日は曇り、19日は少し雨がぱらついたものの、多くの来場者が訪れ朝から各ブースの新鮮な魚介類や農産品を買い求めた。県によると2日間の来場者数は72,000人で、昨年より1,000人増え盛況であった。



編集後記